

修学旅行事前学習 震災学習 6年生

東日本大震災を小学校4年生で経験した教職員の話をお聴きました

話を聴いたあと、積極的に質問する6年生の姿がありました。

児童「津波が来た時、どう思ったのですか？」

津波が、黒くて、すごい勢いで来たの「死ぬ」と思いました。
校舎の3階から、町を見ていたら、真っ黒でした。
地獄にいるのではないかと思いました。

児童「震災当日、家に帰れず、学校に泊まった時、不安ではなかったですか？」

不安でした。自分の家族がどうなったか、とても心配でした。

復興のためにがんばった町の人々についても学びました。そのことから

「どんな町にもどりたい？」についても考えました。

- みんなで復興を進めている町
- みんな協力して 活気のある町
- 助け合い 協力できる町
- 安全安心な町

この日の学習の児童の振り返りから

- 一人一人が協力して復興を進めることが大切だと思いました。
みんなで復興を進めたのがとてもすごいと思いました。
- 一人一人が住みやすい町をつくるために考えることが大切を思いました。
- 町づくりは、国や県だけではなく、住んでいる人一人ひとりが参加することが大切とわかりました。
- 震災で犠牲になった人を忘れず、いつまでも自分の町を大切にしていきたいです。
- 先生の震災の体験を聞いて、思いがわかりました
- 町づくりに大切なことは、自分もできることをさがして積極的にすることです。
- 町が流されても、あきらめないで新しい町づくりをしていくことが大事だとわかりました。一人一人の町を大切にすることが大事

